活動プラス1

2023（令和５）年１月１８日
福山市立日吉台小学校
６年学年通信　　No.26

冬休みの宿題の作文には，「冬休みのイベント」「２学期の振り返りと３学期の目標」「今年の決意」「友達のこと」など，様々な内容について書いてありました。冬休みを楽しく過ごしたことやこれから頑張ろうと気持ちを新たに新年・新学期を迎えたことが伝わってきました。作文を読んでいて，自分の気持ちを言葉で伝えることの良さ，言葉で伝えたことを行動に移そうと努力することや周りにいる人達との関わり合いの大切さを感じさせてもらいました。

一人ひとりが，考えていることをみんなに伝える活動を３学期に取り入れ，人間関係を深めるだけでなく，自分の考えをみんなの前で話ができるようになってほしいと思います。そのために，まず，学級や学年で，お題について，２分間スピーチをすることから始めます。そして，徐々に時間を増やしていきます。また，スピーチをした内容について，簡潔にまとめ，そこに自分の考えも付け加えて書く活動を取り入れていきます。学年通信で，取組の様子を伝えていきます。楽しみにしていて下さい。

お正月

六年二組　喜多村　薪

「かんぱーい！」みんなで言った声で、楽しいお正月を迎えました。一月一日に家族や親戚でお正月の料理を食べました。

最初は、たくさんの親戚からお年玉をもらいました。とても嬉しかったです。

その後は、色々なおいしいものを食べました。僕がその中でも特においしいと思った食べ物は、からあげとローストビーフでした。

ご飯を食べ終えると毎年恒例のビンゴゲームをしました。僕は毎年ビンゴゲームの番号を読みあげる係をしています。使用しているビンゴゲームの機械は、母が三十年前に買ってもらったミッキーマウスの機械です。この歴史あるビンゴゲームでお正月は毎年盛り上がります。僕は自分のビンゴカードに穴をあける時が一番わくわくします。僕の家族は他の家族よりもたくさん勝ったので、来年も勝って盛り上がるビンゴゲームにしたいと思います。

今年も楽しいお正月を迎えられたと思います。ご飯はおいしかったし、ビンゴゲームも楽しかったので、とても良い正月になったと思います。

初詣

六年二組　谷本　佳凛

「十、九、八、七…」新年へのカウントダウンが始まりました。新しい年になり、お正月の終盤に家族で初詣に行きました。神社には人がたくさんいて、お参りの行列がなかなか進みませんでした。やっと列の一番前に行き、参拝した後にみんなでおみくじを引きました。すると、私は大吉が出たので嬉しかったです。そして、後から来たいとこと会い、話をしました。次に会った時にはたくさん話したり遊んだりしたいなと思います。

いとこ達と別れてから、妹の百日祝いをしました。「百日祝い」とは、新生児の生後百日目に行われる行事のことで、「お食い初め」や「箸揃え」とも言います。「一生食べることに困ることがないように」と赤ちゃんの健康な成長を願います。お食い初めの起源は平安時代と言われており、元々は赤ちゃんの生誕五十日を祝っていました。これを「五十日の餅」と呼び、父親がお祝いの餅をほんの少しだけ子どもに食べさせる儀式だそうです。これが百日目に行う「百日祝い」に変わって、鎌倉時代には餅から魚に変わって「真魚初め」と呼ばれるようになりました。

私は百日祝いを調べてみて、元々は五十日目で、餅を少し食べていたことを知ってびっくりしました。百日祝いのことを全く知らなかったので、妹のおかげで新しいことを知るきっかけになってよかったです。